

議事要旨(3) IFRSのエンドースメントに関する作業部会における検討状況

冒頭、小賀坂副委員長より、IFRS のエンドースメントに関する作業部会における検討状況について、審議資料に基づき説明がなされた。続いて、板橋ディレクターより、審議資料に基づき詳細な説明がなされた。

説明に対する委員からの主なコメントと、それらに対する事務局からの回答は次のとおりである。

- ある委員より、次のコメントがあった。
  - IASB がノンリサイクリング等に関連する新しい会計基準を公表するたびに、このような作業を繰り返すことは、相当のコストになるのではないか。

これに対して、事務局より、次の回答がなされた。

- 修正国際基準は昨年 9 月に制度化されており、利用できるように見直していくことが必要と考えられる。IASB が公表した基準についてエンドースメント手続を通じて我が国として受入れ可能かどうか検討することは意義があると考えている。

以 上